



西川桃嶺《玄武洞図屏風》 大正6年(1917)

第3期

—知られざる先駆者—

# 道を拓きしものたち

2024 9/21 [土] 11/24 [日]

開館時間 10時～17時

休館日 月曜日(9月23日(月)、10月14日(月)、11月4日(月)、2025年1月13日(月))は開館、翌9月24日(火)、10月15日(火)、11月5日(火)、1月14日(火)は休館。2月10日(月)は本学美術学部作品展開催期間中につき開館、年末年始(12月27日(金)～2025年1月6日(月))、1月24日(金)、25日(土)、26日(日)

主催：京都市立芸術大学 共催：京都新聞 特別協賛：株式会社ゼロホールディングス 協力：本学大学院保存修復専攻研究室

京都市立芸術大学芸術資料館

〒600-8601 京都市下京区下之町57-1 TEL 075-585-2008 FAX 075-585-2018  
<http://libmuse.kcua.ac.jp/muse/>

入館無料

2024 12/7 [土] 2025 2/11 [火・祝]

# Road to GEIDAI〈芸大〉

第4期

—美術学部改革と新しい教育をめぐる—

須田国太郎《馬墨画》 昭和25年(1950) 吉原英雄《MIRROR OF THE MIRROR NEW YORK》 昭和47年(1972)



辻晋堂《目は口であり、口はまた目である》 昭和40年(1965)

# 京都芸大 はじめての物語

京都市立芸術大学芸術資料館

移転記念特別展

KYOGEI  
TERRACE  
テラスのような大学・京都芸大

京都市立芸術大学  
Kyoto City University of Arts — founded in 1880 —

開校以来140年余り、この学校は美術を志す多くの若者たちによって歴史が刻まれてきました。その中には、明治期に各分野で初めて道を拓いたものの、その後の歴史の中では忘れられた人も少なくありません。ここでは初めての日本画卒業生、初めての西洋画卒業生、初めての女子卒業生等を紹介し、あわせて、収蔵品中最初期の卒業制作を展示します。

ここで展示される西川桃嶺という画家は、明治13年(1880)12月、第1期入学者で唯一の卒業生となった人物です。その作品は希少で、忘れられた画家となっていました。近年本学に大作が寄贈されました。それが保存修復専攻の学生の手により修復され、このたび初公開されます。

# 第3期 道を拓きし ものたち

—知られざる先駆者—



原撫松《友人の像》 明治40年(1907)  
星野画廊蔵



河合聚齋《楠正成応徴図》 明治28年(1895)



耕山細香《野藁寒鶉》 明治30年(1897)



鄭葵裳《鸚鵡》 大正3年(1914)

京都市立芸術大学芸術資料館  
移転記念特別展

# 京都芸大〈はじめて〉物語

日本で最も長い歴史を持つ芸術大学である京都市立芸術大学の京都駅東地区移転を記念して、特別展「京都芸大〈はじめて〉物語」を開催します。明治13年(1880)の創立以来、150年近い歴史の中で、多くの教員や卒業生が芸術の分野で活躍してきました。この間にはさまざまな教育研究の試みや、特徴的な卒業生の輩出がありました。そうして生み出されてきた数々の〈はじめて〉を、芸術資料館収蔵品を中心とするさまざまな作品、資料により展覧し、本学の進取の精神を紹介します。

〈はじめて〉に関する多彩なテーマからなる本展は、会期を4期に分け2024年春から1年間にわたって開催します。第1期と第2期は明治・大正の動き、第3期・第4期では戦後まで含み、全体を通して本学の歴史と芸術資料館の主要なコレクションを一覧できる貴重な機会となるでしょう。

昭和20年(1945)4月、京都市立絵画専門学校は京都市立美術専門学校へと名称を変更し、終戦後は新制大学発足にともない昭和25年(1950)4月に京都市立美術大学として開学しました。一方本学音楽学部の前身となった京都市立音楽短期大学は昭和27年(1952)4月に設置され、両学は昭和44年(1969)4月に京都市立芸術大学の美術学部、音楽学部となって教育をともにしていくこととなりました。同年全国で拡大した学生運動のあおりを受け、本学でも大学改革の気運が生じ、特に美術学部の学生の意見を反映した改革案が実行されていきました。学科の再編が行われ、1回生の共通ガイダンス実技の開始、「研究テーマ」の実施など、現在のカリキュラムにつながる本学独自の教育が始まりました。また、西洋画科(現・油画専攻)から版画や構想設計などの新たな専攻が登場するなど、本学の教育の多様化が進みました。戦後からのめまぐるしく変化する時代において、本学が取り組んだ教育における「はじめて」の試みについて、杏掛キャンパスへ移転した昭和55年(1980)頃までの大学史に関わる収蔵品とともにふり返ります。

作者不詳  
《神像(マサライ)》  
(ニューギニア民族資料)

作者不詳  
《京都市立美術大学門標》  
昭和25年(1950)



# 第4期 Road to GEIDAI〈芸大〉

—美術学部改革と  
新しい教育をめぐる—



<アクセス> 京都市立芸術大学芸術資料館 展示室 本学C棟1階  
○地下鉄烏丸線・JR各線・近鉄京都線「京都」駅下車 徒歩6分(A棟まで)  
○京阪電車「七条」駅下車 徒歩6分(I棟まで)  
○市バス 4、16、17、81、205、南5号系統「堀小路高倉・京都市立芸術大学前」下車すぐ

【関連事業】

ギャラリートーク 無料・事前申込不要  
第3期:10月8日(火) 第4期:12月10日(火)  
各12:15~12:45

講演会「芸術資料館のコレクション」 無料・事前申込不要  
12月21日(土) 13:30~15:30

旧校地ツアー 要事前申込(荒天中止)  
①京都御苑一吉田コース 10月19日(土) 13:00スタート  
②泉涌寺一今熊野コース 11月16日(土) 13:00スタート  
申込方法等の詳細は当館HPをご覧ください。  
<http://libmuse.kcuu.ac.jp/muse/>

京都市立芸術大学芸術資料館

〒600-8601 京都市下京区下之町57-1  
TEL 075-585-2008 FAX 075-585-2018  
<http://libmuse.kcuu.ac.jp/muse/>